



# THE MUTANT CURSORS

β3 RELEASED - JAN 26 2014

Copyright ©2014 bicoidSoftware All Rights Reserved.

# 世界のアイコン作家

## NOBBY - 独占インタビュー

— ……NOBBY先生！　じつにお久しぶりです！

「待たせたね。おそらくこのノリについて来られるMacユーザの大半は、早々に会社員生活をセミリタイアして瀬戸内海近くの古民家で民宿経営など始めた頃合いだろう」

— あいかわらず、ご自身の周囲のみならず世情までを的確に把握されていていらっしゃる。

「小学校の通信簿にはいつも『彼の洞察力の前にはアライグマさえもその手を止めるでしょう』と書かれていたね」

— このお互いに面倒なやり取りが懐かしいですね。

「手短かに作品の話に入ろうか。このあとブリュッセルでオノノ・ヨーコと会食の約束があるんだ」

— 改行位置を巧みに利用して有名人の偽物を紛れ込ませないで下さい。……それでは今回の作品「The Mutant Cursors」について、まず作品の方向性について聞かせて頂けますか。今回もアイコン作成に留まらず、ソフトウェア全体のデザインも監修なさったとか？

「そう。『硬派なセキュリティソフトを作ってくれないか』とクライアントに持ちかけられたとき、僕は頭の中で様々な可能性を辿り、選択肢を並べ、持てるカードをシャッフルし、入念に時間をかけたうえで、一番まっとうな道を選択することにした」

— ……一番まっとうな、道。

「イエス。……この複雑化した現代社会において、我々がコンピュータに接する上で最も懸念されるセキュリティリスクとは何か？　要するに『自分のコンピュータを迂闊に他人に触れさせない』、そこに焦点を絞ったのさ」

— カーソルが画面を飛び交うことで、何かが変わる？

「世界がね。僕のデザインが世界の心拍を進める」

— 唐突に決め台詞みたいなことを言われても、編集段階で書体を変えたりはできませんが……。では全ての挙動はセキュリティを考慮したものなのですね。

「職場で離席するときにこいつを起動しておくのさ。カーソルの大群が気持ち悪くて、誰も触りたがらないだろう」

— なるほど……。しかしユーザの皆さんは、なぜこんなにも中途半端に凝った音楽が用意されているのか、首をひねるのでは？

「普段の声のトーンそのままに人の心を傷つけるのは、君のもっとも得意とする所だね。あと二曲、ボス戦とエンディング曲を披露する日も近いだろう」

— これは期待大ですね。本日はありがとうございました。

「僕のデザインがアライグマの心拍を進める。アディオス」